

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度
事業実施地区名 （都道府県名）	網走東部森林計画区 （あばしりとうぶ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走中部森林管理署
事業の概要・目的	<p>網走東部森林計画区は、北海道の北東部に位置し、網走・湧別川広域流域の東側に当たる網走支庁管内の2市9町で構成されている。その流域面積は、595千haで全道面積の8%にあたり、網走中部森林管理署はこのうち107千haの国有林を管轄している。</p> <p>当管轄区域は、水源かん養を目的とした保安林を主体に全体面積の9割が保安林に指定され、多くの市町村の水源として、また、沿岸部での漁場環境の保全等に重要な役目を担っている。</p> <p>一方、従来から豊かな森林資源を利用して林業・木材産業が発達しており、特に木材加工では建築用材等の生産が盛んであるほか、地域の自然条件、資源を活かした農業や水産業が重要な産業となっている。</p> <p>このため、自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p>		
	主な事業内容	森林整備 更新面積 保育面積 路網整備 開設延長 改良延長	681 (ha) 1,355 (ha) 31.8 (km) 23.0 (km)
費用対効果分析	総費用（C）		1,186,238（千円）
	総便益（B）	水源かん養便益 山地保全便益 環境保全便益 木材生産便益 森林整備経費縮減等便益	4,086,706（千円） 953,962（千円） 18,639（千円） 4,051,000（千円） 385,090（千円）
		計	9,495,397（千円）
	分析結果（B/C）		8.00
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、特に水源かん養機能の増加及び木材生産性の増加、また、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>		